

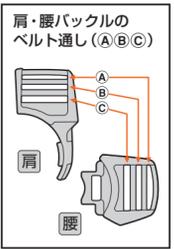


# シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めなくても、万が一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体に合わせ調整し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。
- シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調整してください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付けるとき、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

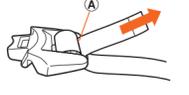
●シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

## 肩・腰ベルトの長さを調節するとき



### 【締めるとき】

ベルトの先端を矢印の方向に引く。



※腰バックル右側でイラスト表現しています。

### 【ゆるめるとき】

バックル表側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。バックル裏側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

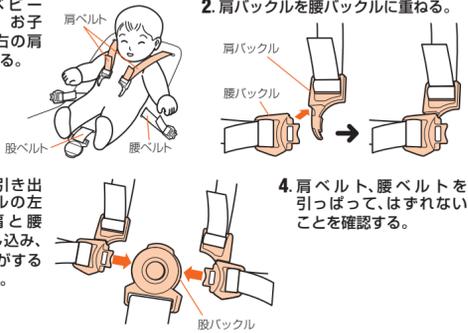


**ワンポイント**  
●ベルトの調節の目安がわからない。  
→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。  
●肩ベルトの先端がお子さまの顔の付近にくるときや、お子さまが引っぱって進んでしまうときは、肩バックルのベルト通しC部分に通してお使いできます。



## シートベルトを締めるとき

1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。
2. 肩バックルを腰バックルに重ねる。
3. 股バックルを引き出し、股バックルの左右に重ねた肩と腰バックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
4. 肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。



## シートベルトをはずすとき

- バックルボタンを押す。
- 
- ワンポイント**  
●背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。肩ベルト通し穴の位置を変えるときは、「肩ベルトの取り付けかた」をご覧ください。長さを調整するときは、「肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき」をご覧ください。取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。  
●肩・腰バックルをはずす際は、バックルボタンの高側を交互に押して、片側ずつはずしてください。

## 肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき

- 肩・腰バックルへのベルトの取り付けかたが、不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- ベルトを肩・腰バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

※肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

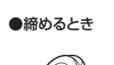
※腰バックル右側でイラスト表現しています。

1. バックルのベルト通しCにベルトを通し、ベルト通しAにベルトを通す。
  2. ベルト通しBにベルトを通す。
  3. ベルト通しCにベルトを通す。
  4. ベルト通しAにベルトを通す。(ベルト通しAとCにはベルトが2重に通ります)
- 

## 股ベルトの長さを調節するとき

### 【締めるとき】

ベルトの先端を矢印の方向に引く。



### 【ゆるめるとき】

股バックル裏側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。股バックル表側を通るベルトを矢印②の方向に引く。



**ワンポイント**  
●股ベルトは、取りはずしできません。

## 肩・腰ベルトの取り付けかた

肩・腰ベルトは、シート側の左右のベルト通し穴にシート裏側から通す。腰ベルトは、シート背面の固定用ループに通してからベルト通し穴に通す。肩ベルトはお子さまの肩にあわせて、高さを調節してください。

**ワンポイント**  
●肩・腰ベルトは、注意ラベル側を表にして使用してください。

## フロントガードの使いかた

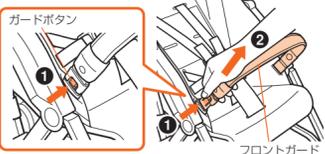
- フロントガードに關係なく、お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上りを防止するものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がずれたり、フロントガードがはずれる可能性があります。

- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードを片側だけはずした状態で保管しないでください。フロントガード本体の変形の原因となります。

- お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、よりスムーズに乗せ降ろしができます。
- フロントガードは完全に取りはずすことができます。

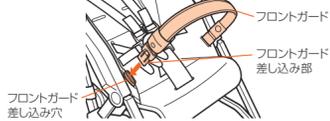
### フロントガードを開くとき

1. ガードボタンを矢印方向に押しながら、
2. フロントガードを引き抜く。



### フロントガードを閉じるとき

1. フロントガード差し込み穴にフロントガード差し込み部を「カチッ」と音がするまで差し込む。
2. フロントガードを引っぱって、はずれないことを確認する。



## キャスターの使いかた

### キャスターを使用するとき

キャスターロックレバーを下げて、ロックを解除する。キャスターを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。

### キャスターを使用しないとき

キャスターロックレバーを上げてロックする。キャスターをロックすると、坂道や凸凹の路面で押しやすくなります。



## ストッパーの使いかた

- ストッパーを通過しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

**注意**  
空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

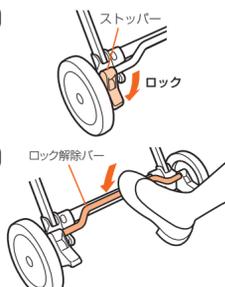
ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。

### ストッパーをロックするとき

1. 車体後側のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

### ストッパーのロックを解除するとき

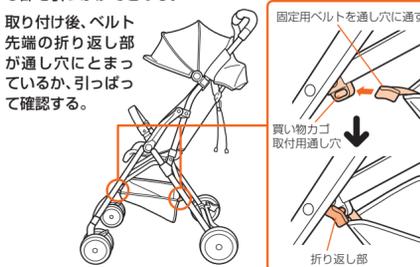
車体後側のロック解除バーの中央を足で踏み込んでロックを解除する。



## 買い物カゴの取り付けかた

- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のつまったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形およびぶれの原因となります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。

カゴ前後左右の固定用ベルトを、前脚後脚の中間付近にある買い物カゴ取付用通し穴(左右4カ所)に通し、ベルト先端の折り返し部を引っかけてとめる。



●荷物について  
できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてください。

## 幌の取り付けかた、はずしかた、使いかた

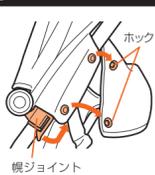
### 取り付けかた

1. 幌の前後を確認して、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかりと差し込む。
2. 幌の左右各2個のフックをとめる。
3. 幌後部の2個のフックを背もたれ後側にとめる。



### はずしかた

左右・後部の計6個のフックをはずし、幌ジョイントの下端のツメを手前に引き上げながら、幌ホルダーから引き抜く。



●ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌を後側にとめてください。

**注意**  
幌を開閉するときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手はさむおそれがあります。

### 使用するとき



### 収納するとき

使用するときの手順を逆行して、幌を後側にとめる。

## リクライニングの使いかた

- リクライニング操作時には、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手はさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調整してください。

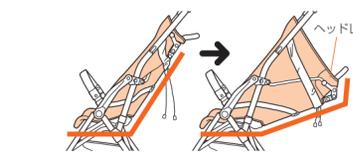
- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- お座りができないお子さまの場合は、1番倒した状態から中間位置まで起こした状態で使用してください。(F2plusのみ)

**ワンポイント**  
●リクライニングの使いかたの目安(F2plus)  
→ 1ヵ月～首がすわるまで  
→ 背もたれは1番倒した状態  
→ 首がすわってから、1人でお座りができるまで  
→ 背もたれは1番倒した状態から中間位置まで起こした状態  
→ 1人でお座りができるようになったら  
→ 背もたれは1番倒した状態から1番起こした状態  
●背もたれを倒して使うと、シートが狭く感じる  
→ お子さまがお座りできる場合に限り、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。

### F2 plus

#### 背もたれの倒しかた

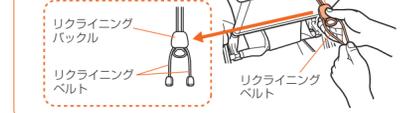
1. 片方の手でお子さまの体を支え、他方の手で、リクライニングバックルの中央リングを引っぱる。
2. 背もたれを倒す。  
ヘッドレストが起き上がってきます。(ムービングヘッドガード機能)



#### 背もたれの起こしかた

背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトを左右に引っっぱる。

**ワンポイント**  
●お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。  
●片方の手でリクライニングベルトを束ねて持ち、他方の手でリクライニングバックルを前方へスライドさせても背もたれを起こすことができます。



### F2

#### 背もたれの倒しかた

リクライニングバックルを起しながら左に移動させる。お子さまを乗せたまま操作するときは、必ずお子さまの体を支える。



#### 背もたれの起こしかた

リクライニングベルトを右に引っっぱる。



## トップウィンドー(幌窓)の開きかた

### F2 plusのみ

窓カバーを開けると、お子さまの様子を見ることができます。

#### 幌窓を開くとき

2個のフックをはずし、窓カバーを巻き上げ、バックルでとめる。



#### 幌窓を閉じるとき

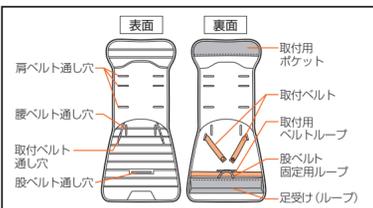
バックルをはずし、窓カバーの2個のフックを幌のフックにとめる。



## シートライナーの取り付けかた、はずしかた [F2 plusのみ]

- やぶれやほつれの発生したシートライナーはそのまま使用しないでください。シートライナー本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- シートライナーを取り付ける際は、フック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全な場合、ケガややぶれなどの原因となります。

**注意**  
シートライナーの肩ベルト通し穴下位置は、シートと同じ高さのベルト通し穴を通してください。上下を間違えて取り付けると、ベルト長さが定まらなくなるおそれがあります。



**取り扱いかた**  
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートライナーに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。ニット生地につけて傷つけるおそれがあります。

### 取り付けかた

1. 背もたれを起こし、バックルボタンを押して、股バックルから肩・腰バックルをはずす。  
※背もたれを倒した状態だと、シートライナーが取り付けにくい場合があります。
2. シートライナーをベースシートにのせ、裏面の取付用ポケットをベースシートの上端にかぶせる。
3. 取付用ベルトループをベースシートの前端に通す。
4. 肩・腰ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。



5. ①: 足受けを使用するとき  
足受けを使用すると、お子さまが寝たときに楽な姿勢になります。  
① 股ベルトを足受けについている股ベルト固定用ループに通す。  
② 股ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。  
③ 足受けをベースシートの前端にのせる。
6. 取付ベルトをベースシートの取付ベルト通し穴に通し、裏側でフックをとめる。  
※取付ベルトがはずれていると、シートライナーが固定されず、すり落ちます。

### はずしかた

取り付けかたの手順を逆行してはずしてください。



### リバーシブルの使いかた

1. シートライナー上部の取付用ポケットをひっくり返し、表面にかぶせる。
2. 取付ベルトを取付ベルト通し穴から、表面に引き出す。
3. シートライナー下部の取付用ベルトループと足受け(ループ)を裏側にひっくり返す。

